

久留米駅の鳥栖駅への移転工事について

平成17年1月19日

九州新幹線（博多～船小屋間）の建設に伴い、JR貨物の久留米駅が支障するため、現在の鳥栖駅に機能を移転統合します。

なお、移転工事実施後の鳥栖駅は、全国で27番目の着発線荷役駅（E&S方式）となります。

1. 鳥栖駅の概要

- | | |
|------------------|------------------------------------|
| (1) 総面積 | 約77,000㎡（うちコンテナホーム約22,000㎡） |
| (2) 主な設備 | 着発線 6線（うち3線は着発線荷役可能）
コンテナホーム 2面 |
| (3) 列車本数 | 11本/日 |
| (4) 想定取扱量 | 約52万トン/年間 |
| (5) コンテナ
取扱個数 | 約400個/日 |
| (6) 所在地 | 佐賀県鳥栖市原町 |

2. 工事費

約32億円
（全額、鉄道・運輸機構の負担による工事で、久留米駅撤去工事費を含む）

3. 工事計画

- | | |
|----------|---------|
| (1) 着工時期 | 平成17年3月 |
| (2) 開業時期 | 平成18年3月 |